

# 和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2016年第10号(週報・月報合併号)

2016年第10週(3月7日~3月13日)、月報2月

## ◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

### ー インフルエンザ： 流行のピーク過ぎる!!ー

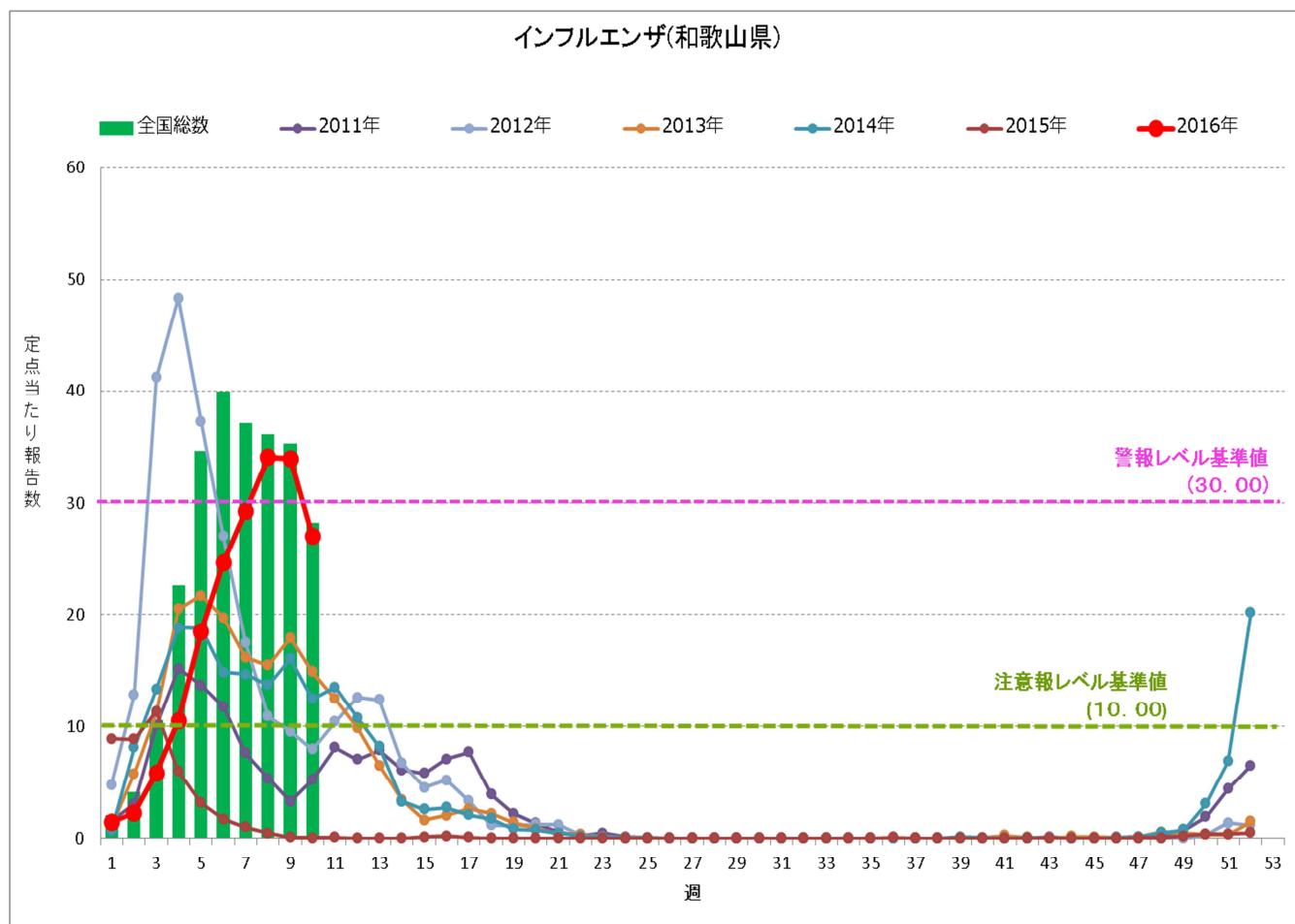
今週の和歌山県全体定点当たり患者報告数は27.04人（前週：33.96人）と減少し、警報レベル基準値を下まわりました。

保健所別では、岩出保健所管内が33.50人（前週：33.67人）、田辺保健所管内が35.43人（前週：36.14人）と警報レベル基準値を上まわっています。

全国的にも患者報告数は28.20人（前週：35.35人）と警報レベル基準値を下まわりました。

感染を予防するために、予防接種を受けたり、うがい・手洗いの励行、マスクの着用等による咳エチケットを心がけてください。

インフルエンザに関するQ&A（平成27年度版）はこちら：[厚生労働省HP  
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/qa.html)



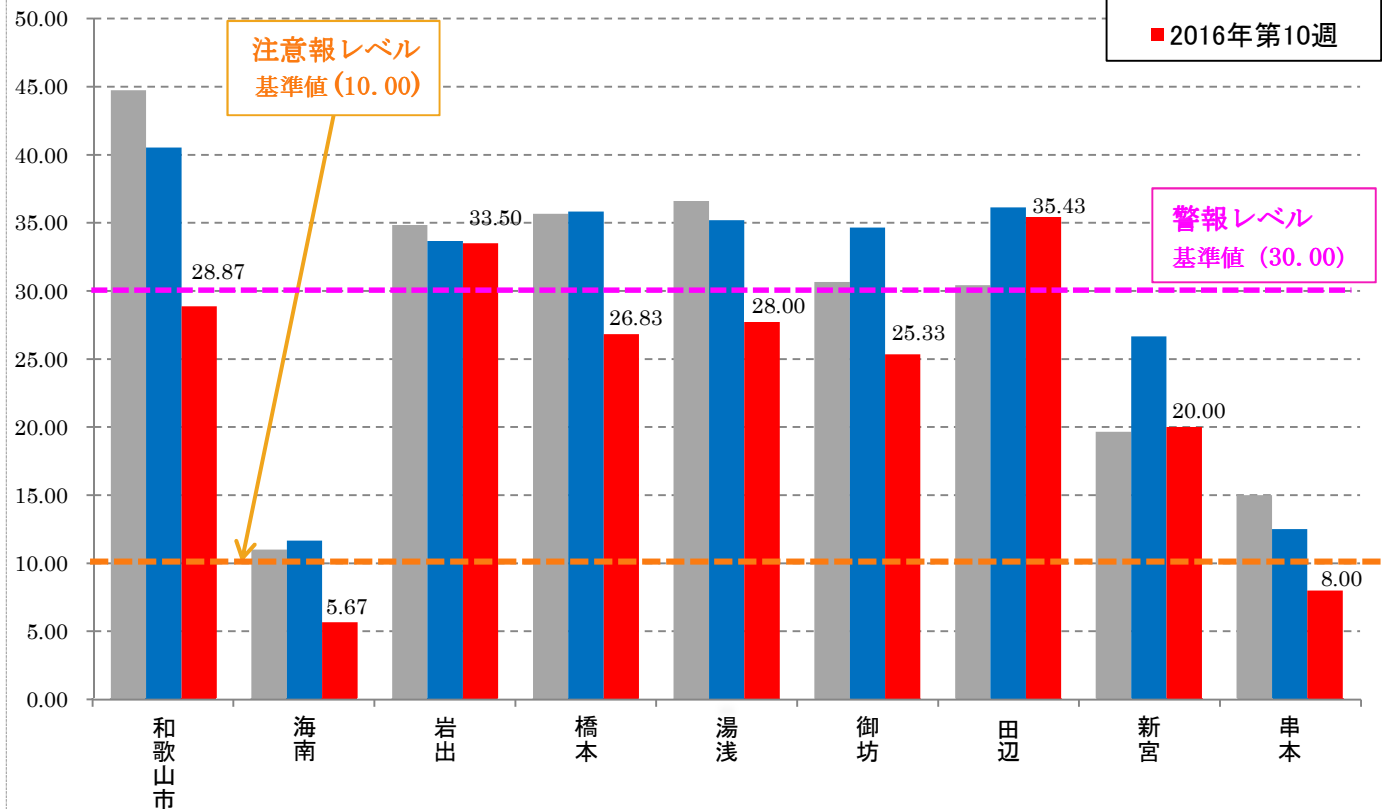
# インフルエンザ

[定点当たり報告数]

- 2016年第08週
- 2016年第09週
- 2016年第10週

注意報レベル  
基準値 (10.00)

警報レベル  
基準値 (30.00)



一 伝染性紅斑 : 過去5年間の同時期に比べ多い！一

伝染性紅斑は、ほっぺがりんごのように赤くなるのでりんご病ともよばれ、ヒトパルボウイルスB19というウイルスが原因で幼児期～学童期に多くかかる感染症です。

県全体の定点当たり患者報告数は、0.48人（前週：1.03人）と大きく減少しましたが、過去5年間の同時期に比べ多い状況です。

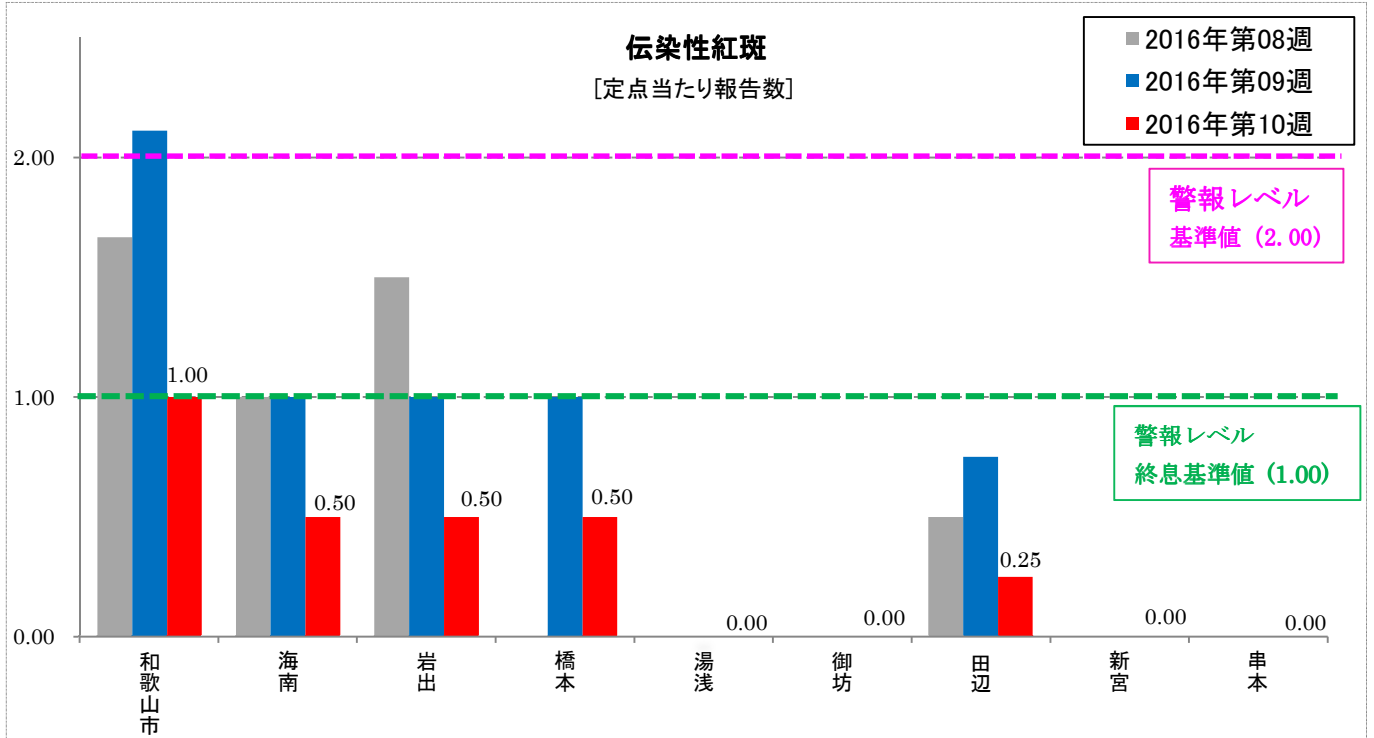
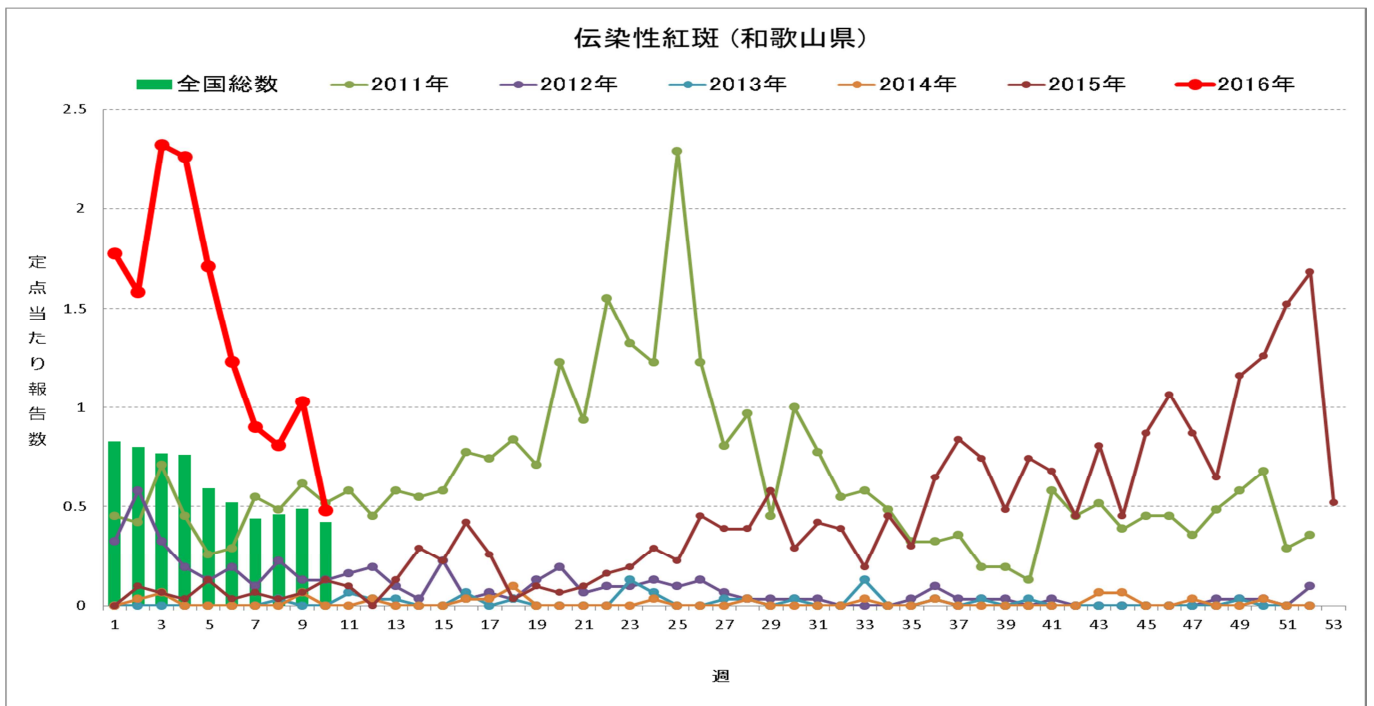
保健所別では、和歌山市保健所管内が1.00人（前週：2.11人）と減少しましたが、引き続き警報レベルとなっています。

全国的には患者報告数は0.42人（前週：0.49人）と少し増加し、過去5年間の同時期に比べやや多い状況です。

この疾病の感染経路は、飛沫感染および接触感染です。感染予防のために、手洗いうがいを励行しましょう。

伝染性紅斑に関する説明はこちら：(国立感染症研究所HP)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/443-5th-disease.html>



## — A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 —

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは、A群溶血性レンサ球菌による上気道感染症で、突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴う細菌性の感染症です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、0.39人（前週：0.55人）と減少し、過去5年間の同時期に比べ少ない状況です。しかしながら全国的に流行していますので注意してください。

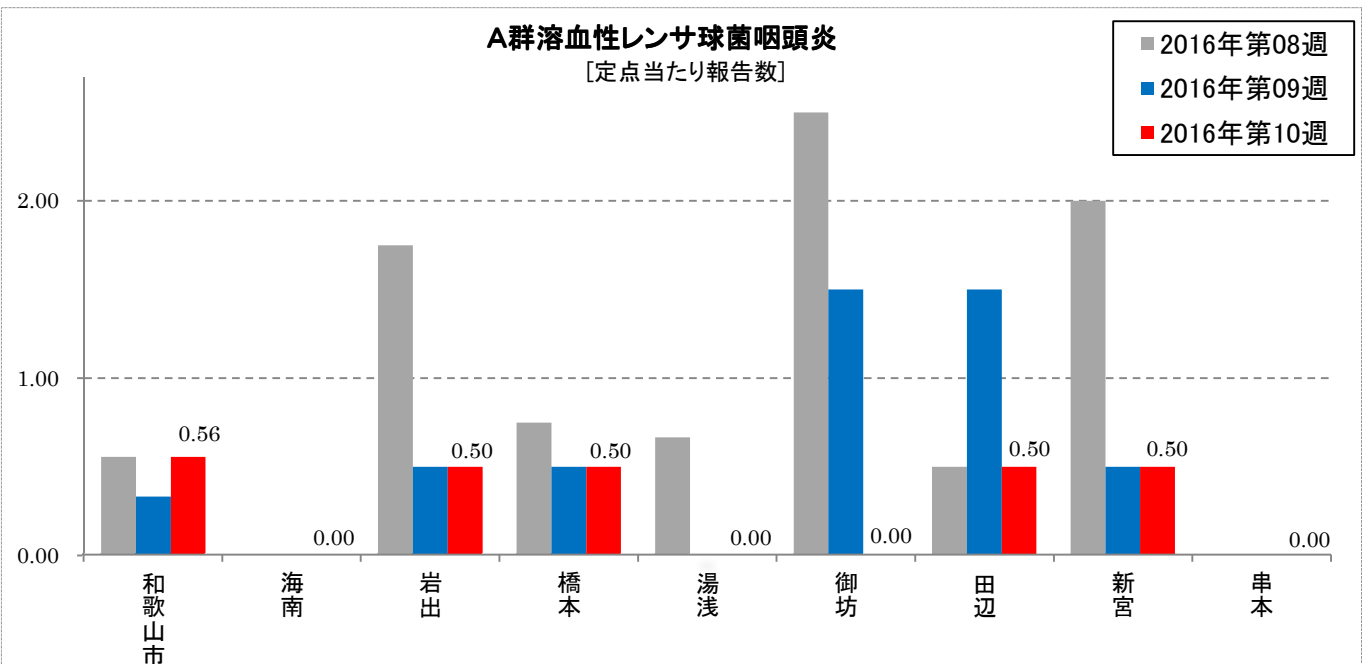
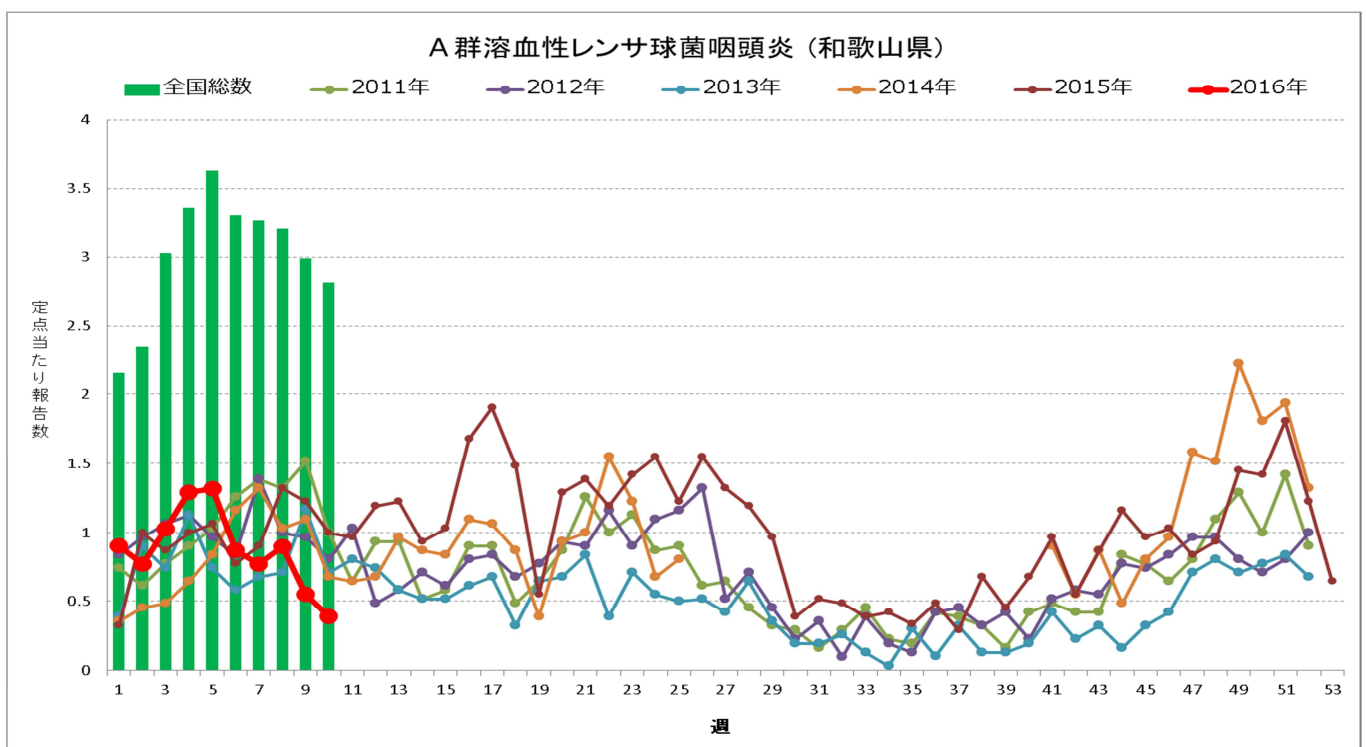
保健所別では、和歌山市保健所管内が0.56人（前週：0.33人）と最も多くなっています。

全国的には患者報告数は2.82人（前週：2.99人）と減少しましたが、過去5年間の同時期に比べ多い状況です。

主な感染経路は飛沫感染と接触感染であることから、手洗い、うがいを徹底し、感染者とのタオルの共有は避ける等、予防に努めましょう。また、せきの症状がある場合はマスクを着用する等、せきエチケットを心がけてください。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に関する説明はこちら：（国立感染症研究所HP）

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/340-group-a-streptococcus-intro.html>



## ◆◆ これから注意が必要な感染症 ◆◆

### － 感染性胃腸炎 －

感染性胃腸炎は細菌やウイルス等を原因とする下痢、嘔吐を主症状とする感染症です。特に秋から春先にかけて患者報告数が多くなり、この時期はノロウイルスやロタウイルスが主な原因です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、5.61人（前週：5.03人）と増加しましたが、過去5年間の同時期に比べやや少ない状況です。しかしながら今後患者報告数が増加することも予想されますので十分注意してください。

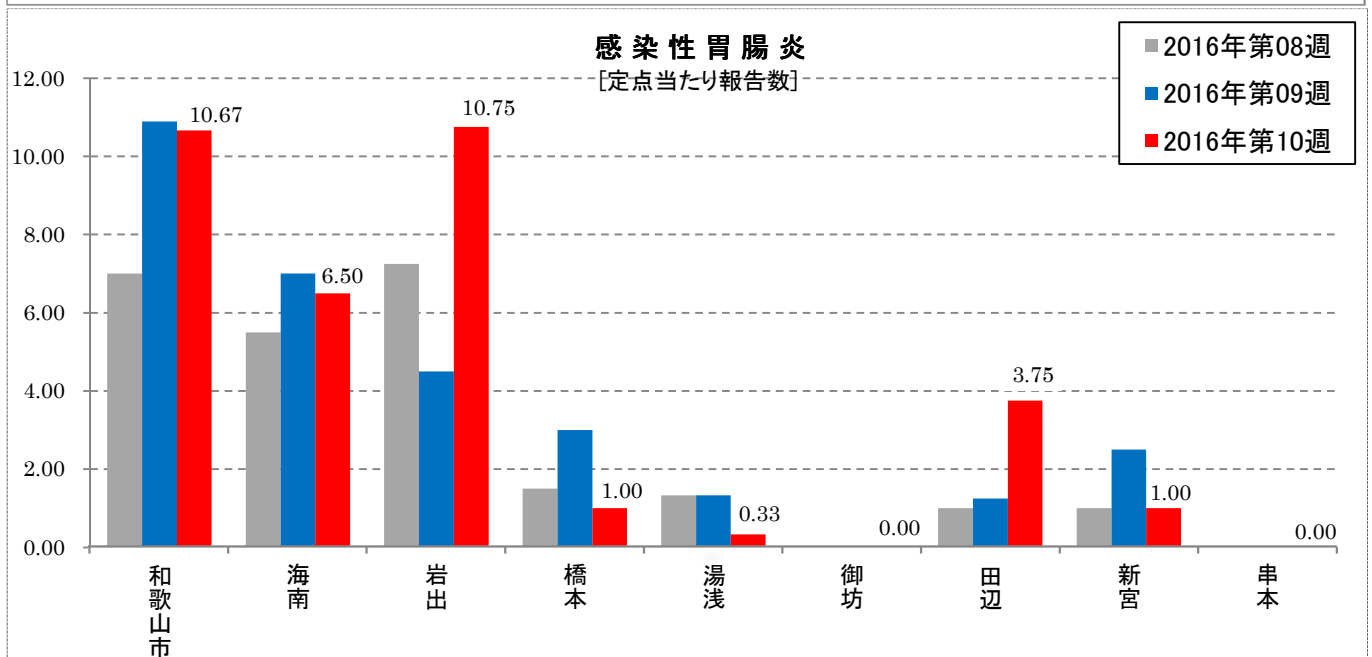
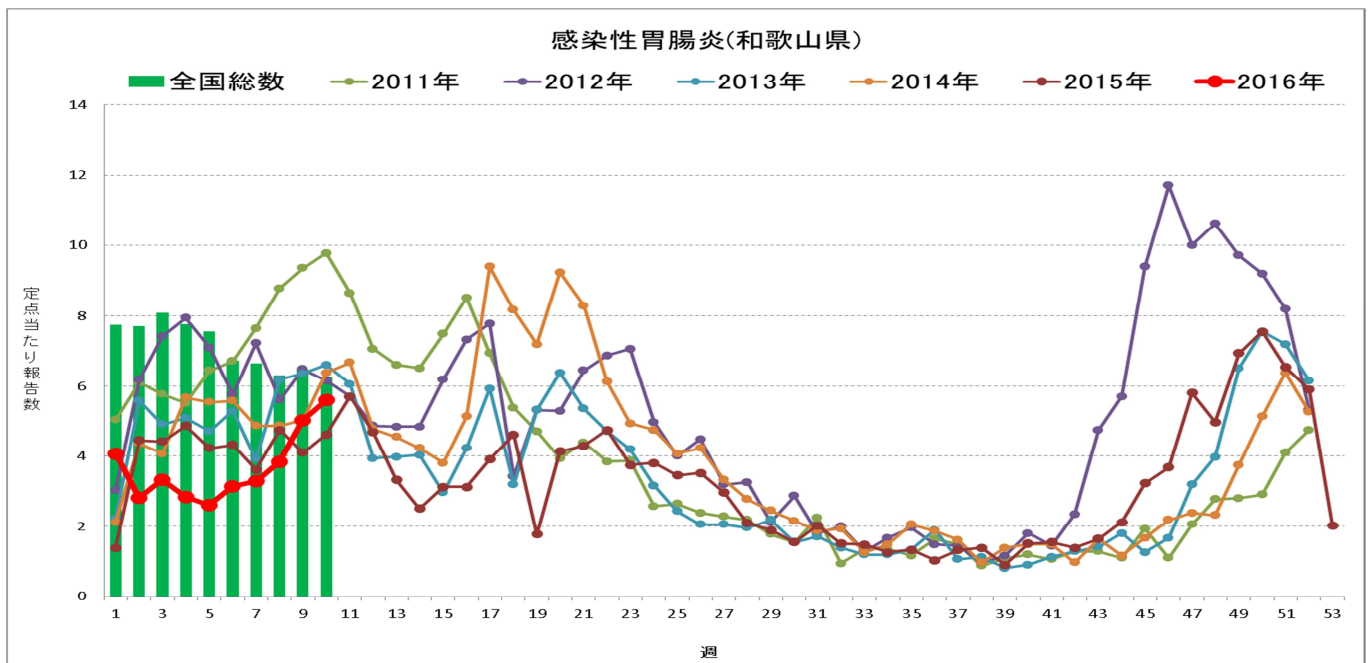
保健所別にみると、岩出保健所管内が10.75人（前週：4.50人）と最も多く、次に和歌山市保健所管内が10.67人（前週：10.89人）となっています。

全国的には患者報告数は6.27人（前週：6.49人）と減少し、過去5年間の同時期に比べ少ない状況です。

ノロウイルスの感染力は非常に強く、感染経路としては経口感染や患者との接触による接触感染、患者の嘔吐物や便からの飛沫感染等があります。感染予防には手洗いの励行、患者の嘔吐物を処理する際は塩素系漂白剤等を用いて適切な処理をすることが大切です。

感染性胃腸炎の詳しい説明はこちら：(国立感染症研究所HP)

(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/383-intestinal-intro.html>)



## 風しんワクチン接種に対する助成制度について

和歌山県では、県内の19歳以上50歳未満の妊娠を希望する女性と妊婦の夫を対象とした風しんワクチン接種費用の助成をおこなっています。

詳しくは、現在お住まいの各市町村の保健福祉関係課へお問い合わせください。

**助成期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日**

### ○ 定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

## ◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

### <届出状況>

(1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
- 2 類感染症：結核 3 名
- 3 類感染症：報告はありませんでした。
- 4 類感染症：レジオネラ症 1 名
- 5 類感染症：ウイルス性肝炎 1 名、カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 名

(2) 第 1 週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	29
レジオネラ症	4
ウイルス性肝炎	1
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3
急性脳炎	3
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1
侵襲性肺炎球菌感染症	2
梅毒	3
播種性クリプトコックス症	1

## ◆◆ 5類定点把握感染症(週報)について ◆◆

### <各保健所の警報注意報レベル状況>

#### 警報レベル

- インフルエンザ（和歌山市保健所管内、岩出保健所管内、橋本保健所管内、湯浅保健所管内、御坊保健所管内、田辺保健所管内）
- 咽頭結膜熱（新宮保健所管内）
- 伝染性紅斑（和歌山市保健所管内）

#### 注意報レベル

- インフルエンザ（新宮保健所管内）
- 流行性耳下腺炎（御坊保健所管内）

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	1352	1	13	51	44	63	98	97	108	105	79	94	269	57	29	60	74	40	47	17	6
	定当	27.04	0.02	0.26	1.02	0.88	1.26	1.96	1.94	2.16	2.1	1.58	1.88	5.38	1.14	0.58	1.2	1.48	0.8	0.94	0.34	0.12

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	5	1	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.16	0.03	0.03	0.06	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	10	-	-	2	1	3	-	2	2	-	-	-	-	-	-
	定当	0.32	-	-	0.06	0.03	0.1	-	0.06	0.06	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	12	-	-	1	-	-	2	2	1	1	-	3	1	1	-
	定当	0.39	-	-	0.03	-	-	0.06	0.06	0.03	0.03	-	0.1	0.03	0.03	-
感染性胃腸炎	報告	174	2	4	18	17	21	18	29	11	9	10	6	23	-	6
	定当	5.61	0.06	0.13	0.58	0.55	0.68	0.58	0.94	0.35	0.29	0.32	0.19	0.74	-	0.19
水痘	報告	7	-	1	-	1	1	1	-	1	-	-	-	2	-	-
	定当	0.23	-	0.03	-	0.03	0.03	0.03	-	0.03	-	-	-	0.06	-	-
手足口病	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	15	-	-	3	1	1	-	6	2	2	-	-	-	-	-
	定当	0.48	-	-	0.1	0.03	0.03	-	0.19	0.06	0.06	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	11	-	4	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.35	-	0.13	0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	15	-	-	-	-	5	1	2	5	-	-	1	1	-	-
	定当	0.48	-	-	-	-	0.16	0.03	0.06	0.16	-	-	0.03	0.03	-	-





<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	433	17	201	161	140	76	248	60	16
	定当	28.87	5.67	33.5	26.83	28	25.33	35.43	20	8
RSウイルス感染症	報告	2	-	1	1	-	-	-	1	-
	定当	0.22	-	0.25	0.25	-	-	-	0.5	-
咽頭結膜熱	報告	2	-	-	-	-	3	2	3	-
	定当	0.22	-	-	-	-	1.5	0.5	1.5	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	5	-	2	2	-	-	2	1	-
	定当	0.56	-	0.5	0.5	-	-	0.5	0.5	-
感染性胃腸炎	報告	96	13	43	4	1	-	15	2	-
	定当	10.67	6.5	10.75	1	0.33	-	3.75	1	-
水痘	報告	6	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.67	-	0.25	-	-	-	-	-	-
手足口病	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	9	1	2	2	-	-	1	-	-
	定当	1	0.5	0.5	0.5	-	-	0.25	-	-
突発性発しん	報告	5	-	2	-	3	-	1	-	-
	定当	0.56	-	0.5	-	1	-	0.25	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	1	-	-	1	5	8	-	-	-
	定当	0.11	-	-	0.25	1.67	4	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	3	…	…	…	…	…	1	…	…
	定当	1	…	…	…	…	…	1	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	1	1	-	-	-	-	…
	定当	-	…	1	0.5	-	-	-	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告	5	…	2	-	-	-	2	-	…
	定当	1.67	…	2	-	-	-	1	-	…











### <院内感染症の動向>

2月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が2.00人(先月：1.55人)となっています。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症で患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の約68%となっています。

### 【2月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	22	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	1	15
	定当	2	0.09	-	-	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	0.18	0.18	0.09	1.36
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	定当	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	0.09

### 和歌山県感染症情報 (WIDR) 2016年第10号

発行日：平成28年3月17日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail [e0318011@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0318011@pref.wakayama.lg.jp)

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail [e0412003@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0412003@pref.wakayama.lg.jp)

このWIDRは感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成されています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。